

未来への投資

すべての人にブロードバンドを



本事業推進に対する 住民の反応はどうか。

賛成、反対、期待、疑問…さまざまな発言が飛び出した住民説明会。
どんな意見や質問があり、町はどう答えたのだろうか。
皆さん的一番の関心事である住民説明会の様子を一部紹介する。

質問 住民説明会での 回答



※地区名や個人名はふせてあります。丸数字は一人で複数の質問をした場合です。

事業の主旨・方向性・費用などに関すること

●質問 ① 現代的で良い設備投資だと思う。ただし合併時にも要望したが、こういったものをプログラムする会社を本町に誘致するなどの対策がとれないだろうか。②この町には同報無線がある。告知放送端末は本当に必要か。③告知放送端末は、どういった社会活動への活用が考えられるのか。新しい産業や経済効果を生み出すといった、町民サービス以外の方向性も示し

●回答 ①企業の誘致について、他市町ではそういう事例もあるらしいが、住環境の整備なども考えないとならないため、現状では難しい。②同報無線には法的な規制があるが、告知放送はこれに当たらない。同報無線の戸別受信機は町内3分の1の世帯しか加入しておらず、屋外スピーカーに頼らざるを得ないのが現状である。告知放送端末と併用して相互に補完したい。

③産業分野への活用については、地域コミュニティ（自治会、まちづくりの会）などへの活用と併せ、当然考えいかなくてはならない。国の方針では、高容量の基盤整備を推進しておき、福祉・教育・行政への活用

●質問 ①大まかな区分ではあるが「基盤整備（引き込み）」11億5千万円、「地デジ」5千万円、「告知放送端末」3億円、「インターネット整備」1億円」と見込んでいる。②担当部署については、当面関係する各課で対応する方向で考えている。

●質問 事業に反対する人もいると思うが、それでも進めるのか。

●回答 町の方針として実施する方向で進めていく。そのため説明会を開いていると理解してほしい。町議会へも事業の必要性を説明している。

●質問 議会だよりの中でも「現在のインターネット環境や携帯電話を使つたサービスでブロードバンド環境は手に入る。FTTH方式は白紙に戻すべき」とあるが、どういうことか。

●回答 議会では何度も同じことを答弁している。議会からは「幹線部分など主な光ファイバだけを整備して各家庭への引き込みは必要ない」「各家庭へは無線を使う方式もある」との意見を受けている。だが、実施したいサービスやコスト面、光ファイバ網の活用を考えるとFTTH方式が最善だと町は考えてい

●質問 加入予測を教えてほしい。

●回答 告知放送端末12,700世帯、地デジ150世帯、インターネットトータル1,000世帯（5年経過時点）で予測をしている。

●質問 民間業者が整備しないということは、利益が出ないということ。通信業者と一緒にやるとか、助成してでも通信業者を呼び込む方が良いのでは。

●回答 通信業者を助成することも検討したが、実現の可能性は低い。

●質問 本事業を運営するのはどこか。役場がやるのか、業者に委託するのか。

●回答 町が運営するか、指定管理者とするか、いくつかの選択肢があるため、その中から検討している段階である。

●質問 各家庭に置く告知放送端末機は、高齢者でも簡単に使えるものか。

●回答 この端末機の開発目的は「高齢者に使ってほしい」というもの。タッチパネル方式で、画面に触れるだけで操作ができる使いやすい設計。まだ現物がないが、11月以降イベントなどでデモをやれたらと考えている。

●質問 このタイプの告知放送端末を導入している市町村は全国でも12カ所しかない。行政はそれを検証をしたのか。

●回答 昨年度までの実績は12自治体だったが、本年度30自治体が導入を予定している。今後、

●質問 告知放送端末機などの「事業者」の扱いは、法人関係なく加入できる。告知

した住民サービスを実施しているところは県内にはない。

●質問 本町と同程度の財政規模で、同様の設備を持つている自治体があるか。

●回答 県外には存在する。

●質問 最終的には多数決で事業実施が決まるのか。

●回答 最終的には、議会による事業実施予算の可決が必要となる。

●質問 告知放送（端末機）に関すること